

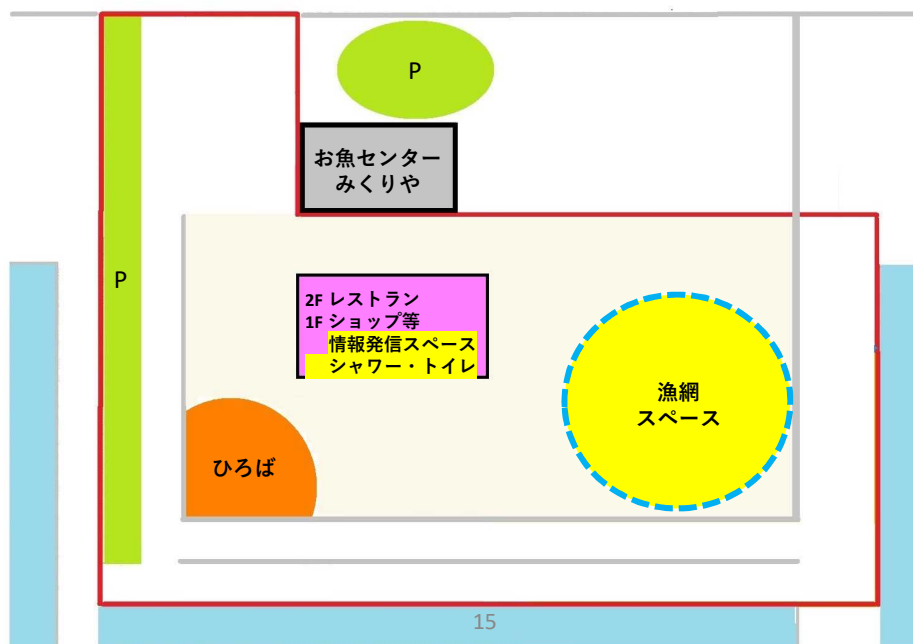
整備方針や敷地の条件面を踏まえ、3つの機能を担う施設を配置し予算状況や実現可能性を踏まえ、その他必要な施設を整備します。

機能	主な対応施設例
情報発信機能	情報発信スペース
滞在拠点機能	レストラン ※海を見ながら食事できるようにすること
	イベント広場
	ショップ等
	駐車場
アクティビティ対応機能	トイレ (意見No.2・意見No4)
	シャワー・更衣室
	駐輪場

※継続性を考慮しながら、上記機能を担う施設を配置します。
 周辺の利用状況から本施設整備に付随して整備すべき事項は以下のとおりです。

	必須	詳細
周辺条件面から 必要な整備	★	アート倉庫を移設又は残地すること。
	★	花火大会の打ち上げ場所近辺のため耐火構造又は準耐火構造とすること
	★	漁具の収納スペースを確保すること。
	★	お魚センター狭小課題に対応するため、1間の拡張を行うこと。

【拠点施設ゾーニングイメージ図】



概算事業費・想定スケジュール

現段階において、計画における概算事業費及び整備スケジュールは以下に示す通りです。

(1) 概算事業費

協議結果に併せて修正の可能性有

	概算事業費	備考
設計業務	約 4700万円	倉庫移設等含む
施工管理業務		
工事費	約 4億5000万円	倉庫移設等含む
合計	約 4億9700万円	

※運営に必要な什器等は別途必要です。

概算事業費は計画策定段階で最大限のものを見込みます。

(2) 整備スケジュール

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
基本計画	■ ■ ■ ■ ■				
基本設計		■ ■ ■			
実施設計			■ ■ ■		
建設工事			■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■	
運営開始				■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■

※本整備スケジュールは工事内容等により時期が変更になる場合があります。

(前段修正なし) 略**1. 全体事項**

本施設での事業展開は、~~お魚センター~~みくりやの課題解決と併せて、海側の観光振興と町内周遊観光を推進するために併せて検討を開始した事業です。今回事業では検討開始背景を優先すること、現状不足するコンテンツを他施策等で補いながら周辺状況の変化に併せ再整備の余地を残すためにも最小限の施設の配置としました。

海の観光拠点がハブとしての機能を担い、海側の観光振興や町内周遊観光を促すためには、今回事業用地での展開だけではなく、**周辺での取組や、関連した取組を展開していくことで海側観光のコンテンツを充実させていく必要があります。**周辺での取組も併せて行うことが必要です。「御来屋周辺の空き家活用」「周辺でのアクティビティ提供」など本施設以外での海側の観光振興に貢献する施策展開などが必要です。

(重複削除：項目2以降で記載)

(意見no5. 配慮説明過多で共感削ぐ) (着実に取り組む姿勢を示す(確約はしない))

2. 御来屋等の周辺活性化

今回の事業用地のみでの展開だけでは海側の観光としてのコンテンツとしては充分ではありません。海側の観光振興のために本拠点がハブとしての機能を果たす上では、今回事業地付近での現在空き家が増えつつあり、御来屋周辺地区の活性化については特に重要な課題と考えられます。「御来屋周辺の空き家活用」等も考慮し、ソフト面・ハード面含めた検討が必要です。

3. 導入施設

検討経過の中で、今回事業用地には既存の生業が存在している中での展開となり既に周辺に生業がある中でのアクティビティの提供は競合する箇所があります。**状況の変化に応じて今回事業地や周辺で強化する施設を今後も検討していく必要があります。**周辺住民の理解を得ることも考慮し、既存の生業を優先すべき事項として今回の導入施設を設定しました。しかし、大山町が目指すアウトドアを活用した観光振興や海側の観光振興、町内周遊観光を実現するためにはコンテンツとして不足感があります。海のアクティビティを本施設で提供しない方向で設定していますが、その他施策展開等でフォローする必要があります。また、大山町には雨天時に活用できる施設等もないため施設導入の検討も必要と考えられます。

(意見No.5)配慮説明過多で他地区の共感を削ぐ)

4. その他施策展開について (略)